

静岡家具に、未来はあるか!?

vol.1 「石川さんのプレゼン」

「伝統産業である静岡家具は今、危機的な状況です。産地としての存続が危ぶまれているのです。僕たちのように小さな小さな家具屋に出来ることは限られているのかもしれませんが、なんとかしたい、そんな思いです。岩崎先生は「このままではまだまだ家具屋の数は減らざるを得ない」とおっしゃいますが、それでは困るんです!!金鱗は無垢の木を使った家具を造っていますが、もっともっと使い手の声をお聞きし、もっともっと愛される家具とは何かをみなさんと考えていければと思います。これから一年間、全力で行きたいと思うので宜しくお願いします!!」



国道二号線沿いという立地を活かし、シヨールームを休憩所のような場所にしては?

村松真裕美

金鱗さんの家具はシンプルで四角いものが多い。私は曲線がある丸っぽい形が可愛らしくて好きだ。輪という日本語を聞いたことがあるが、家族が輪になってご飯を食べられるテーブルなどがあっていいなと思った。

スーモンイ

自分の実家も家具屋で、非常に興味深かった。静岡の家具業界を復活させることはとても重要だと思う。産業の空洞化を打開していくには、金鱗さんのように地域密着型の経営が必要だと思っ。

西村拓磨

(お恥ずかしながら)静岡家具がどこで売られているのかわかりませんでした。静岡家具には、尖った「何か」が必要なのではと感じました。

前迫紗由美

金鱗さんのように高級な家具にはあまり興味がありませんでした。僕は、インテリアは統一感が大事だと思っます。二トリやIKEA等は安くして一式揃えられるから人気を博しているのだと思っます。

廣田幸大

静岡が家具の産地と知らなかった人 13/16人!!

手造り家具の金鱗 VS 石川智規

静岡県立大学
マーケティング研究室

岩崎ゼミ

右から
石川智規
岩崎邦彦
先山晃平
望月磨
廣田幸大
醍醐真理子
村松真裕美
仲本友香
前迫紗由美
スーモンイ
笹井遼馬
渡井真優子
小久保望未
森下莉早
西村拓磨
木村紀子
梅野朝美



石川さんの話を聞き終えて、最初に質問したのはゼミ長の先山君だった。そして、その内容に驚かされた。「そもそも、家具って何ですか?」家具の定義。考えたこともなかった。学生はやっぱり柔軟だ。
4月下旬、静岡県立大学の岩崎ゼミに集まった16人の新3、4年生はこれから二年間の研究テーマを検討中だった。緑茶やいちごトマト、漆器など毎年地域の事業者とコラボレーションしてマーケティングを実施し、新商品開発や店舗ディスプレイのコーディネートなどコンサルティング業務を実践する岩崎ゼミ。その実績たるや、プロ顔負けだ。「消費者へトマト」について聞かせるかと聞くと3000円と答えるが、おいしさの感動にいくら払うかと聞くと5000円と答える。価値の提案が重要だ。とは岩崎先生。柔軟な若き人材と、それを率いるマーケティングのプロとがタッグを組むこの岩崎ゼミが注目されている理由が分かった気がした。
そんな岩崎ゼミに、金鱗の石川さんが挑戦状をたたきつけた。静岡家具の未来を本気で考え、マーケティングという切り口で金鱗にフォーカスしたとき、一体何が生まれるのか!?これから一年間にわたり、そんな真剣勝負が行われようとしている。今回は、プレゼンを聞き、興味を持ってくれた学生が集い、金鱗の工場や静岡家具メッセ展示会場の視察ツアーを予定。シナリオ無し!!全5回の本

企画、皆さんもぜひ一緒に静岡の家具について考えていってもらえたらと思っ。乞うご期待!!



後日届いたレポートは興味深い意見ばかり。



ラフな雰囲気意見も飛び交いやすい。

手造り家具の金鱗(きんりん)
静岡市駿河区北丸字2-38-9 Tel/054-201-2511
営/10:00~18:00 休/ほぼ無休

